

# あいさつ

平素は、学校保健の充実・推進に御尽力いただくとともに、県学校保健会の円滑な運営に対して御理解と御協力を賜っていますことに心からお礼申し上げます。

近年、子ども達を取り巻く社会状況や生活様式が急激に変化する中、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、性に関する問題に加えて、自然災害や事件、事故なども多発しており、多様化・複雑化した問題が生じています。

特に、近年は食物アレルギー・アナフィラキシー・気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎などのアレルギーを有する子ども達も増加しているため、これらの対応も重要な課題の一つとなっています。

このような状況の中、公益財団法人日本学校保健会により「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が令和2年3月に改訂されたことを受け、県教育委員会が作成している「学校におけるアレルギー疾患対応指針」も改訂される経緯となりました。

県学校保健会といたしましても、学校のみならず各専門家や専門機関など、社会全体で課題を受け止め、連携するための支援を行うことを通して、子ども達が心身ともに健やかに育ってくれることを願っています。

終わりに、今後も皆様方にお力添えをいただきながら、学校保健の更なる充実・推進に向けた取組を行って参りますのでよろしくお願い申し上げます。

令和2年11月

奈良県学校保健会 会長 広岡 孝雄